

くさしぎ便り No.9

くさしぎ・草の根市議と市政を考える会 2014年7月発行 e-mail kusasigi@nifty.com

「辻よし子と歩む会」ホームページ

http://www.geocities.jp/yt_ayumukai/index.html

「くさしぎ便り」第9号をお届けします。

今回は、長年あきる野市の市議として活躍している野村正夫さんから市の財政についてお話を伺いました。

「あきる野つぱら 学びの場 その9」 ご報告

4月21日あきる野ルピアにて開催

あきる野市の財政

話題提供者 野村 正夫さん

●のむらまさおさんプロフィール ●

あきる野市市議会議員。現在5期目。
福祉文教委員として、活躍中。
牛沼在住。



2002年、ポートピア構想浮上

平成14(2002)年にサマーランド横に、場外舟券売場(ポートピア)を設けようという計画が、秋川交通も巻き込んで持ち上がりました。PTAを中心とした市民の反対運動が起こる中で、市議会でも設置を許可するかどうかの審議をし、その結果、賛否同数になったために委員長であった私が「反対」に一票を投じ、廃止が決まったという経緯があります。結局、市原市が場外舟券売場を引き受けましたが、風紀問題はもとより財政的にも見合わず、現在はお荷物施設になっています。あきる野市は、合併前から多摩市、稲城市

といっしょに三市収益事業組合をつくり、江戸川競艇に関わってきました。かつては15億の収益があったこともありますが、今は2千万ほどになっています。私は撤退した方がいいと言っていますが、事業組合をやめるにも5~6億円のお金がかかり、それも難しい。行政の事業はいったん始めると「撤退」するのが、いかに困難であるかということです。

都下26市でワースト1の借金

あきる野市の財政で、まず注目してほしいのは膨大な借金です(表1)。総額約606億(平成25年度末)、市民1人あたり約75万円の借金となります。これは都下26市の中で

断トツのワースト1です。借金は、将来の住民が払っていかねなければならないわけで、その負担を指数化した「将来負担比率」も当然高く、64.7%。都下26市の平均が33%であるのと比べると、ほぼ2倍です。ちなみにお隣の福生市や羽村市、また少し離れますが立川市はこの指数が0で、将来の住民が負担していく借金の比率は、極めて低いのです。

借金が膨らんだ原因は？

こうした市の財政状況は、私も大変心配しているところです。そこで、いったいどうしてこうなったのかを考えてみました。

① 旧秋川時代に土地開発公社が買った土地

を、あきる野市が借金をして買い戻した。

旧秋川時代に土地開発公社が必要以上の土地を買ったために、合併直後（平成7年）で233億5千万の借金がありました。その土地を市が19年かけて、借金を重ねながら買い戻してきています。おかげで土地開発公社の借金は18億2千万（平成25年度末）に減りましたが、その分、市の借金が増えました。

しかも土地開発公社の買収した土地の約半分は、雑木林など使い物にならない土地だったために、わざわざ造成して売却しなくてはなりません。たとえば菅生ではそうしたやり方で、デッキを誘致したのですが、デッキが撤退し、コンパクト、ヒューレット・パッカーと所有者が転々し、現在は菅生学園が所有していますが、学校法人の為税収がありません。そのため造成費用の補てんもままならないで、赤字になっています。

また菅生高校の先にある公社所有だった土地（23,238坪）は、国の公示価格が6971万4千円であるのに、あきる野市は、それを約8億3142万4千円で買い戻しました。もちろん

表1 あきる野市の借金は？（平成25年度末）

市の借金		606億 174万0千円
内訳	一般会計	272億 3098万8千円
	下水道事業特別会計	239億 847万3千円
	一部事務組合関係	76億 4098万9千円
	債務負担（土地開発公社簿価）	18億 2128万5千円
1人当たり借金		約75万
将来負担比率		64.7%（都下26市平均33%）



借金をして買っているわけです。また、今現在、草花に建てられている市営住宅も、坪単価が通常の2倍もするような見積り価格で、工事が行われています。こんなことが重なれば、市の財政が悪化するの当然です。

なぜ、こんなことが起きるのか、その一因には、バブル期に「議会で審議をしている間にも土地が値上がりする」ことを理由に「公有地の拡大の推進に関する法律」ができ、市長が議会を通さずに、土地購入できるようになったことがあるでしょう。そのことが安易な土地の購入につながっています。同法は「土地開発公社」の依拠法ともなっていますが、今やその役割を終えた法であると言えます。

① 合併した時、国に勧められて「合併特例債（地域総合整備事業債）」を限度額いっぱい約140億（元利で）利用し、現在もその借金を返済中。

あきる野市の合併特例債の主な利用先は、「瀬音の湯」の約26億円の施工費用の内23億円、中央図書館25億円・東部図書館エル8億円。

瀬音の湯は平成33年度まで毎年1億8千万円ほどを返済していくことになっています。



その間、運営団体である第3セクター「新四季創造(株)」からは、年間入湯税約1200万円が市に納められるだけです。いわば、市民の税金で建てた施設を会社に無料で貸しているようなものです。もちろん、それによって地元の雇用が増え、地域経済が活性化するならいいのですが、当初予定していたほど雇用は広がらず、逆に五日市駅の1日乗降客数は、合併当時と比べて12%も減っている有様です。(10,432人→9168人)

商店数も104店舗から72店舗に(32店舗減)になりました。つまり地元の活性化には全く役に立たなかったということです。「新四季創造(株)」は年間300万ほど市に寄付をしてくれていますが、入湯税を合わせても、返済金にはほど遠く、焼け石に水と言えます。

- ② 合併後19年間、箱物行政が続いて、その管理費がかさんでいる。
- ③ 文化団体など市の補助金交付団体への交付金が非常に多い。

あきる野市では135団体に年間10億4763万7千円の補助金を出しています。福生市、羽村市はあきる野市の半分程度です。当市の補助金は交付団体の数も、1団体への金額も多く、それも市の財政を圧迫しています。

市の財政、今後の見通しは？

市税収入を今年度の予算で見ると、105億5千万円。合併直後の平成8年から3億円減っています。残念ですが、今後も増える見込みはありません。それに引き換え、支出は平成8年から見ると48億円増えています。しかもゴミ処理場や下水道の借金返済、さらに引田駅周辺の区画整理事業が始まれば、30億～40億の借金が増え、これからも厳しい財政状況が続くと見られます。

議会は役割を果たしたのか？

議会には予算の提案権や執行権がなく、その招集も市長権限です。しかし予算や決算を審議し「地方自治法」に定められているように「最小の経費で最大の効果」が挙げられるよう監視してチェックしていく役割があります。市の借金が増えた経緯を見ると、それが不十分であったと言わざるを得ないでしょう。



これからの処方せんは？

身の丈に合った財政運営に切り替えていくしかないと思います。夕張市とは人口の動態が違うので、すぐに市財政の破綻ということはないでしょうが、市民が賢くなって健全な財政運営がなされるように働きかける必要があります。地方自治体は国と違って、市民の声でどうにでもなる面があると思います。議会の傍聴に足を運ぶ、図書館などで市の資料を見る、また総務省のホームページでは、全地方自治体の財政状況が見られるので、他市と比較してあきる野市の状況を把握するなど、必要な情報を得て、それを投票に生かしてもらいたいと思います。陳情や請願などで市政に参加する方法もあります。そうした活動を通じて、財政の浪費を許さず、あきる野市を持続性のある町にしていってほしいと願っています。



建設が進む
草花地区の市営住宅

「くさしぎ・草の根市議と市政を考える会」の紹介

「くさしぎ」は鳥の名前ですが、「草の根市議」という意味も込め、会の名前としました。2011年の福島原発事故以後、多くの気づきがありました。その中で「今まで私たち市民は、あまりにも政治家に政治をお任せしてきたのではないか」という苦い反省もその一つです。「くさしぎ」はこの反省に立ち、もっとも身近な市政に、私たちの代表の「草の根市議」を誕生させ、その市議とともに市政に主体的に関わろうと呼びかける、あきる野市民の会です。

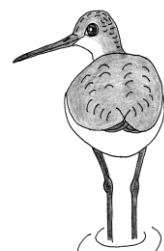
市民代表としての「草の根市議」の要件:

- ①市民といっしょに市政を考える。
- ②市の現状と問題点を市民に情報発信する。
- ③開発優先ではなく、環境優先(放射能への危機感を持つ)。
- ④マイノリティの視点をすくいあげる。

私たちは、草の根市議とともに市の課題を考え、ともに解決していく良き伴走者となることで、市政に参加し、あきる野市を今以上に暮らしやすい「マイタウン」にしたいと考えています。多くの皆さまが「くさしぎ」の活動に参加して下さる事を期待しています。

～つながりましょう～

☺/ 「くさしぎ」メンバー募集中 (*^_^*)



「あきる野市は、放射能は大丈夫?」「市の財政は健全?」

なんて市政に少しでも興味がわいた方、「くさしぎ便り」

を今後も読みたい方、メンバーになりませんか?

また、催し物などメールでお知らせ(不定期)するメールマガジン配信しています。

ご希望の方は下記にご連絡ください。

- 連絡先 ・ e-mail kusasigi@nifty.com
 ・ 〒190-0154 あきる野市高尾 182-1 ☎&Fax 042-596-4569(佐橋)

くさしぎ ニュース

とうとう、横田基地にオスプレイ飛来。

○7月6日、超大型台風8号の沖縄接近に伴い、米軍から、「沖縄の基地に所在する航空機を本土の基地に避難させ、横田基地には、KC-130(機数は不明)、MV-22オスプレイ(数機)が飛来する模様」との連絡が基地周辺の5市1町に入った。この時は飛来しないまま終わった。

○7月19日、岩国基地に駐留していたオスプレイが、札幌市にある自衛隊丘珠駐屯地に飛来する過程で、一時横田基地に着陸、給油。

オスプレイは飛行機とヘリコプタの機能を併せ持つ最新鋭機種だが、開発段階から事故が多く、安全性が疑問視されている。「くさしぎ」では、7月7日に「あきる野9条の会」のメンバーとともに、市役所に緊急申し入れを行い、「オスプレイ横田飛来に関しての情報収集と開示の徹底、市の上空を飛ばないように市として国に申し入れをしてほしい」と要請した。

また、19日に行われた抗議集会にも参加した。オスプレイの飛来に関してはこれからも要注目。